

第2回 コンパクトなまちづくり大賞

1. コンパクトなまちづくり大賞について

コンパクトなまちづくり大賞は、改正都市再生特別措置法による立地適正化計画制度、これに併せた事業制度としての都市再生整備計画事業（旧まち交）を始めとするまちづくりのための各種事業を活用し、地域の創意工夫のもと、コンパクトなまちづくりを推進し、他のモデルとなるまちづくりの取組事例を表彰し、全国に紹介することを目的として、昨年度に引き続き実施します。

2. 主催・後援

主催：コンパクトなまちづくり推進協議会、一般財団法人都市みらい推進機構

後援：国土交通省

3. 実施方法

全国の市区町村から応募のあった都市の中から、受賞都市を選定する。

【総合戦略部門】

立地適正化計画及び関連計画を公表し、「健康（医療）・福祉・子育てを支えるまちづくり」または、「安心・安全なまちづくり（防災、交通安全、バリアフリー等）」に関連する取組を行っている市区町村

【個別事業部門】

まちづくりにかかる事業（都市再生整備計画事業、市街地整備事業等）のいずれかを完了し、一定の成果をあげている市区町村

【審査委員会】

第1回：令和2年 2月17日（月）

第2回：令和2年10月19日（月）

委員	東京海洋大学名誉教授	高橋洋二	（令和2年10月現在）
副委員長	日本大学特任教授	岸井隆幸	（順不同、敬称略）
委員	東京工業大学教授	中井検裕	
〃	和歌山大学教授	足立基浩	
〃	東京理科大学教授	伊藤香織	
〃	（株）建設環境研究所理事	伊藤伸一	
〃	国土交通省大臣官房審議官（都市）	望月一範	
〃	国土交通省大臣官房技術審議官（都市）	渡邊浩司	
〃	国土交通省大臣官房審議官（住宅）	黒田昌義	
〃	コンパクトなまちづくり推進協議会幹事長	横本勝己	（松山市都市整備部長）
〃	（一財）都市みらい推進機構専務理事	有安 敬	

4. 表彰

【総合戦略部門】

- ①国土交通大臣賞（1点）特に優秀な取組
- ②コンパクトなまちづくり推進協議会会長賞（1点）優秀な取組

【個別事業部門】

- ①国土交通大臣賞（1点）特に優秀な取組
- ②都市みらい推進機構理事長賞（1点）優秀な取組

第2回 コンパクトなまちづくり大賞 受賞一覧

【総合戦略部門】

賞	都市名	概要、受賞理由
国土交通大臣賞	富山市（富山県）	富山市では、早くから公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりに取り組んできており、路面電車の延伸等により都心地区や公共交通沿線居住推進地区の人口の転入超過が続く等の成果をあげている。また、令和2年3月路面電車南北接続事業の完成を控え、『とほ（富歩）活アプリ』（歩数、公共交通利用、イベントの通知や参加等によるポイントの取得等）の開発・運営により、公共交通の利用促進、歩くことによる健康増進（予防医療）、賑わいづくりのきっかけを提供する取組等、分野横断的な施策が展開されている点が高く評価されました。
コンパクトなまちづくり推進協議会会長賞	沼津市（静岡県）	立地適正化計画策定にあたり、特に沿岸部での津波などの災害リスクへの対応が課題となっていた。安全・安心のまちづくりを進めるべく、並行して津波対策計画の検討が進められ、津波避難困難地区の設定、日常生活圏である中学校区を単位とした津波避難計画の作成等について、市民による避難行動WSを3年継続して実施することにより市民の理解を深めるとともに、これらの成果を居住誘導区域の設定等に活かしている。こうした、丁寧な取組が評価されました。

【個別事業部門】

賞	地区名・都市名	概要、受賞理由
国土交通大臣賞	道後文京地区 松山市（愛媛県）	道後温泉地区の新たな温泉施設の建設と、高次医療施設の現地建替え、関連する基盤整備を実施するとともに、その効果を発揮するための複数の事業を展開し、観光客数や温泉宿泊者数、中心市街地の人口、電停利用者数、歩行者交通量等の目標を達成しつつある。今後、医療施設の令和3年度竣工、併せて道後温泉本館保存修理工事の令和6年度完了等により、松山市の医療・教育の中枢を担う地域としての発展と、地域資源を活かしたさらなる賑わいの創出が期待できる点等が高く評価されました。
都市みらい推進機構理事長賞	野々市中央地区 野々市市（石川県）	学校跡地の活用による文化交流拠点（図書館、市民学習センター）の整備と、旧施設の建替えによる地域中心交流拠点（公民館、市民活動センター、商業施設）の整備を主とするものであるが、施設の整備手法や運営方法に工夫をこらし、近隣市町からの利用を含め交流人口の増大とまちの賑わい創出につながりつつある。加えて、これらの施設を核とした、旧街道沿いの街並みや文化財等の地域資源を活かしたまちづくりへの展開等が期待できる点が高く評価されました。